

平成30年度第2回佐渡市地域自立支援協議会 議事録

日時・場所	日時：平成31年2月19日（火）午前9時30分～午前10時45分まで 会場：アミューズメント佐渡 展示室
議 題	1 開 会 2 議 題 （1）平成30年度自立支援協議会の各専門部会の作業報告について 3 その他 4 閉 会
会議の公開・非公開	公開
参加者	<p>（1）医療機関を代表する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真野みずほ病院 事務局長 市川 一之 <p>（2）障害福祉サービス事業所を代表する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 事務局長 細木 寅雄 ・社会福祉法人佐渡福祉会 理事長 弾正 佼一 ・社会福祉法人しあわせ福祉会 常務理事 山田 秀夫 ・社会福祉法人とき福祉会 施設長 雑賀 隆夫 ・社会福祉法人佐渡国仲福祉会 理事長 本間 攻 <p>（3）関係行政機関の職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 長澤 正宏 ・佐渡市教育委員会 教育長 渡邊 尚人 <p>（4）市長が必要と認める者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市手をつなぐ育成会 会長 佐藤美恵子 ・佐渡地域精神障害者家族連合会 会長 山本紀美代（座長） ・佐渡連合商工会 副会長 村川 一嘉 ・佐渡市身体障がい者福祉協議会 副会長 金山 教勇 ・佐渡公共職業安定所 所長 田中 啓一 ・新潟県立佐渡特別支援学校 校長 齋藤 千賀子 <p style="text-align: right;">計14名</p>

専門部会 事務局	・相談支援センター そらうみ (相談支援部会)	相談支援専門員	本間 奈美	
	・相談支援事業所 はまなすの家 (知的・身体障がい部会)	相談支援専門員	原田 恭子	
	・相談支援事業所 さど (精神障がい部会)	相談支援専門員 相談支援専門員	相田 都代 近藤 良子	
	・障がい者就業・生活支援センターあてび (就労支援部会)	センター長	野田 康子	
	・子ども若者相談センター (療育支援部会)	保育支援専門員	佐藤 淳子	
	・子ども若者相談センター (ひきこもり支援部会)	主任	金子 真有美	
			計 7 名	
傍聴者	・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部	副部長 課長 主任 精神保健福祉相談員 主事	小林 倫季 伊里 昌子 本間 智晴 荒川 恵美 原田 章洋	
	・社会福祉法人佐渡福祉会	岩の平園園長 事務局長 第二岩の平園園長 まっはらの家園長 まっはらの家支援課長代理 そよかぜ園長	渋谷 正和 石塚 泰子 菊池 敬一 出崎 信博 本間 豊彦 濱田 雅晴	
		相談支援事業所こもれび相談支援専門員 障がい者就業・生活支援センターあてび 就業支援ワーカー	石川 和順 堀 智仁	
	・社会福祉法人とき福祉会	相川岩百合施設長	佐々木 雅文	
	・特定非営利活動法人立野福祉会	チャレンジド立野施設長	後賀田 一則	
				計 1 5 名

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民福祉部社会福祉課 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">課長</td> <td style="width: 50%;">大屋 広幸</td> </tr> <tr> <td>課長補佐</td> <td>計良 好昭</td> </tr> <tr> <td>障がい福祉係長</td> <td>兵庫 研司</td> </tr> <tr> <td>主事</td> <td>牧野 未来</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>清水 真実</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計 5 名</p>	課長	大屋 広幸	課長補佐	計良 好昭	障がい福祉係長	兵庫 研司	主事	牧野 未来	社会福祉士	清水 真実
課長	大屋 広幸										
課長補佐	計良 好昭										
障がい福祉係長	兵庫 研司										
主事	牧野 未来										
社会福祉士	清水 真実										
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度第 2 回佐渡市地域自立支援協議会 会議次第 ・ 平成 30 年度第 2 回佐渡市地域自立支援協議会 参加者名簿 ・ 平成 30 年度佐渡市自立支援協議会各専門部会報告資料 ・ 自立支援協議会ひきこもり支援部会報告資料「大切なあなたへ」 										
進行及び協議内容	<p>1. 開会 [事務局進行] <配布資料の確認> <市民福祉部社会福祉課長あいさつ> <座長に議事進行依頼> <座長よりあいさつ></p> <p>[座長進行][各専門部会事務局より内容説明]</p> <p>2. 議題 (1) 平成 30 年度自立支援協議会の各専門部会の作業内容について</p> <p style="padding-left: 2em;"><各専門部会事務局より報告></p> <p>①知的・身体障がい部会 <部会事務局より報告> 「報告の追加として、第 2 回知的・身体障がい部会で検討した内容で、新たな議題として、入所施設などの利用者の高齢化に伴い、介護保険へのスムーズな移行が出来るよう、どのような取り組みが必要か、今後協議していく予定である。」</p> <p style="padding-left: 2em;"><質疑・意見> なし</p>										

②就労支援部会

<部会事務局より報告>

<質疑・意見>

- ・社会福祉法人佐渡福社会 理事長 弾正氏

「表彰制度について、障がい者の親は表彰されると感動する。意見が出されているだけではなく、実現に向けて作業してもらいたいと思う。」

- ・真野みずほ病院 事務長 市川氏

「就労支援については非常に重要だと思う。実習を受けることもあるが、なかなか現場サイドが受け止めににくいところがある。業務をどうやって確立していくかというところと、来ている人の理解力、我々の説明とともに、情報をしっかりと現場に出して支援をしながら、定着への方向をつけていくことが大事だと思う。そのほかで、本人のモチベーションについては、表彰制度が非常に重要であるが、雇用の拡大を図っていかなければいけないと考えている事業所への情報提供や支援が充実していくと良いと思う。ただ就労すればいいのではなく、本人が将来、生活していく上で賃金をもらって労働する重要さを感じ取っていただきながら、雇用の拡大を進めていきたいので、その方向性を部会で検討していただきたい。」

- ・社会福祉法人佐渡福社会 理事長 弾正氏

「組織として、職員が足りないことに悩んでいる。人が足りないことで、外国人労働者の受け入れという方法があるが、我々はその受け入れ体制について、出来ているかと問われると問題なところがある。我々だけではなく、行政側にも助けてもらわないといけない部分があると思う。それを行政がどのような形で取り入れているかというところ、まだまだ寂しいところがあるので、ぜひ充実させて欲しい。例えば、まずはじめに、言葉の問題など、佐渡市でどのように解決していくか、今の段階から考えて充実させて欲しいと思う。」

③精神障がい部会

<部会事務局より報告>

「佐渡市における精神障がい者版地域包括ケアシステムの検討が終わり次第、本協議会に提出し、協議してもらいたい。」

<質疑・意見>

- ・真野みずほ病院 事務長 市川氏

「地域移行は、国の政策であり、病院については、治療を必要とする方を入

院するところであり、病院自身もその方向に行かざるを得ない。現在真野みずほ病院では、常勤医が1名であり、病院自身がこれからどうなっていくかという岐路に立たされている状況であり、病棟も1病棟休みにしている状態である。「病院を退院した人が、地域で迷惑行為をして困る。そういう人を病院に入れてくれないか。」という話がある。この話を聞くと、精神障がい部会と逆方向に行っているように感じる。そういう方を、病院に入院させて欲しいという地域の声のほうが多い。そのあたりについて、地域への理解や、市内の障がい者が今後どのように地域で生活するかというシステムを構築することが重要になると思う。24時間、支援を受けなければいけないということになってくると、相当な付加がかかってくると思う。何か事件を起こせば警察、救急外来を受診する人もいるが、佐渡総合病院の救急外来を受診しても、真野みずほ病院に行くように言われるので、根本的な解決には繋がらず、同じことの繰り返しになっているように思う。その中で、病院として出来る支援となると、出張診療は難しいので、訪問看護、さらにデイケアの活用であり、その2つを充実させていかなければいけないと考えてる。財政面もあり、なかなか拡大ができない。訪問看護については、市からの交通費助成があるが、「訪問看護が来るとお金が高くて仕方がない」という話もある。訪問看護を受ける方の意識の問題をどのように解決していくのか、近々の課題かなと思う。そういったことを含めて、障がい者支援のシステム作りをしていただき、我々も積極的に参加していきたい。」

・佐渡地域精神障害者家族会連合会 会長 山本氏

「実際の現場を見る中で、ニュース等で痛ましい事件を見ると、また始まったかと悲しい想いをする。周りの人から暖かい目を見ていただいて、平和に収まる方法をみんなで考えていかなければならないと感じる。」

・佐渡市社会福祉課障がい福祉係 係長 兵庫

「訪問看護の医療費について、自立支援医療を受けている方であれば、訪問看護の医療費についても、国の制度で1割負担で済んでいるところである。さらに自立支援医療を受けている人については、市のほうで半額助成をしている。協力して訪問看護がこれからも拡大していくよう、交通費助成と合わせて支援していきたいと考えている。」

④ひきこもり支援部会

<部会事務局より報告>

<質疑・意見>

- ・佐渡市教育委員会 教育長 渡邊氏

「とてもいい資料なのだが、文字が読み取れない。地区や住所、電話番号がないところもあり、連絡したい人、行きたい人が困るのではないのかと思う。」

- ・佐渡市社会福祉課障がい福祉係 係長 兵庫

「提案いただいた中身を付加して、再度印刷して配布したいと考えている。」

⑤療育支援部会

<部会事務局より報告>

<質疑・意見>

- ・佐渡特別支援学校 校長 齋藤氏

「当校の児童への支援については、子ども若者相談支援センターと連携を取って支援している。子ども達の適正な就学というのが、非常に重要であると考える。その中でも特別支援学校へ就学、進学するという事は、保護者の皆様の中で非常に抵抗が大きい。早い段階から子ども達の将来を見据えた就学や進学、そして、その中で佐渡特別支援学校の教育課程を理解していただくことが必要である。そのためには、実際に見ていただくことが重要になってくるので、当校でもそのようなことを丁寧に進めている。小学校の段階から、保護者が、将来佐渡でどのように、どういうところで就職してもらいたいと思っているのか、保護者の願いを、学校や関係者で共有しながら、丁寧に進めていく必要があると考える。小学部の段階から将来を見据えた指導を学校でも引き続き、力を入れたいと思う。」

⑥相談支援部会

<部会事務局より報告>

<質疑・意見>

- ・佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 長澤氏

「全国障がい者芸術・文化祭については、国民文化祭と併せ開催される全国的な非常に大きなイベントである。まだ島内でも盛り上がりにかけている部分があるが、障がい者の文化活動や障がい者理解を深めていただく重要な機会である。これが盛り上がり、多くの方々に認知されるように、引き続き、皆様から広報に協力していただきたい。」

	<p>⑦権利擁護部会</p> <p><部会事務局より報告></p> <p><質疑・意見></p> <p>なし</p> <p><全体と通しての意見></p> <p>・佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 長澤氏 「知的・身体障がい部会の中で、強度行動障害支援者の養成が必要であり、講習が受講しやすいよう佐渡市での開催を検討していきたいということについて、佐渡島内での研修が出来るように、県の自立支援協議会に要望してはどうか。」</p> <p>・佐渡地域精神障害者家族会連合会 会長 山本氏 「島内で研修して、支援できる人を増やしていただきたいと思うので、是非話を進めていただきたい。」</p> <p>3. その他</p> <p>なし</p> <p><座長よりあいさつ></p> <p><座長終了></p> <p>[事務局進行]</p> <p>4. 閉会</p>
備 考	